

CIVIC

SHUTTLE



HONDA®

サンルーム

ワンダー・シビック誕生



最近、明るく自由な生活がふえています。ムダを省き、ほんとうに必要なものとだけつきあっていく、そんなシンプルな暮らし方がふえています。新しいライフスタイルにあわせた新しい発想のクルマがほしい。それも、セダンという基本テーマのなかで実現したい。世界のクルマづくりをリードする、真の国際車として、FF2ボックスの先駆者として、ホンダはここにFFの究極をめざし、これまでの常識にピリオドを打つ、まったく新しい設計哲学をもったクルマづくりを敢行しました。

人間のためのスペースは最大限に。

メカニズム・スペースは最小限に。

「Man-Maximum, Mecha-Minimum」

M・M思想、このニューコンセプトの追求が、FF5ドアセダンという、はじめての形を創りあげたのです。想像を超えたビッグな居住スペース。光の開放感にあふれた、“サンルーム”とも名づけたい知的空間。T&Wのスクエアシェイプが生み出す小気味よい走り。なにもかもがワンダー（驚異の）なシビックです。生活を自由にアレンジし、人生を謳歌する新世代のための、これからのフォーマルセダン。シビック シャトル、どこまでも創造性をつきつめて、いま誕生です。



FF16年・780万台突破。
昭和59年6月半完成生産累計
自己生産車100万台突破

の あ る セ ダ ン



FFニューエイジへ

FFニューコンセプトセダン

シビックシャトル

5ドア

1300・1500

Photo: 501 電動3モードで走るホンダ・シビックシャトル
アヒルがのびるは、また、また、

光と広さのボ



セダンにも、こんな広さ

広さを「高さ」と「幅」に求めて生まれ

ツクステリア



写真はカッポディ車による撮影です。
Photo: 55

こ こ ま で



楽しい、



FLEX-SEAT

刺激的な生活が見える。自由発想のフレックス空間。

気の合う仲間たちとの交歓のときがある。フォーマルな装いのひとときもある。
子供たちとの陽気な語らいもある。誰もが、毎日、いくつもの感動のシーンを生きている。
セダンだからこそ、生活のさまざまなシーンにこたえてくれる、自由な空気にあふれていたい。

シャトルは、人生をいきいきと謳歌するためのフレキシブルな創造空間。
生活を明るく刺激する、新しい発想の5ドアセダンです。

創造空間。



フレックシートは、35000

Photo 35 フレックシート ■写真は、よりよくご理解いただくためのシート使用の一例です。■運転時は、適切なシート位置にてご使用ください。

新生活者は、家族を、友だちにする。

光あふれる、広い空間。明るく知的な、広がり。

静かさをどこまでも求め、さわやかな空気に包まれた、ファミリーのためのスペース。

いま、いちばん開放的な、感動の空間です。



Price 555 ユーザー満足はネット

新感覚のフォーマルな空間。

55M・55G タイプ専用シート

よりラグジュアリーな空間を求める正統派の入客のために、もうひとつのシートを用意しました。立体感のある、シート形状。高級感にあふれる、シート素材。さらに、後席にも余裕のレッグスペースを確保しています。どこに座っても、快適さは同じ。さわやかな風をたっぷりと満喫できる、新しいフォーマル空間です。さらに、低トンネルのフラットフロアが、足もとの余裕を広げています。



パワードアロック

運転席側をロックすると、4か所が自動的にロックします。(55G)

リアシェルフ 簡単な折りたたみ式。ラゲージルームのプライバシーを守ります。(55G)



フロントシート・フルフラットリクライニング

光あふれるセダンのためのインテリアは、自由な空気にあふれていたい。創造空間を、数倍に楽しくふくらませてくれる、フロントシート。ヘッドレストをはずして、フルリクライニングすれば、リアシートと一体のフルフラットシートになります。(55G)



リアシート・リクライニング 新しいセダン発想が、後席の考え方を進歩させました。片側ずつ倒せる、スプリット方式。4段階に調節できる、リクライニング。シートを前に倒せば、フルフラットのラゲージルームが登場します。(55J・55G)



リアシートビロー からだに合わせ、高さが調節できます。ふだんは、シートバックに埋め込み式。すっきりとしたデザインです。(55J・55G)

新生活者は



、シャトルに乗ってやってくる。



快走、広さのフォルム。

走りが速い



新しい走りを生むT.W.スクエアシェイプ。

広くゆったりとしたこのフォルムが、じつは空力にも大いに優れているのです。スラント&ショートノーズの低ボンネットから、なめらかにラウンドする、大型のフロントウィンドウ。そしてシャープなロングルーフや、揚力を抑えて空力に寄与する、テールゲートアッパーガーニッシュなど、全身に快走のデザインがあふれています。しかも走るほどに路面に吸いつく、シャトルは $C_L=0$ のゼロリフト。空力データを高めながら、しかも最大限の居住スペースを同時に確保できた、まもなくとも新しい、5ドアセダンです。

TOTAL AERODYNAMICS

$C_D \times A: 0.79$ (空気抵抗係数 $\times$ 前面投影面積)

$C_D: 0.39$ (空気抵抗係数)

$C_L: 0$ (揚力係数)

$C_{RM}: 0.05$ (ローピングモーメント係数・ヨーアングル 45° 時)



広さ、快適さ、低燃費。セダンとしての基本を最大限に確保したうえで、空力性能にも優れた、高性能な走りを実現したい。
この相反するテーマを見事に両立させて、シャトルは生まれました。
このフォルムが想像を超えた新しいセダンの走りを生む。



Photo 352 アルミホイールは全車標準。

シャトルは基本コンセプトから新しい。
「広さ」はもちろん、「走り」までもが新しい。
FFの良さを、いまや常識にまで高めたホンダが、
さらに、その先をめざしました。
〈マン・マキシマム、メカ・ミニマム〉M・M思想を徹底的に追求することにより、
限られたサイズのなかで、想像を超える居住空間を実現したのです。
しかも、5ドアという基本設定のなかで、高性能な走りと低燃費を両立し、そして、機能性と
自由な空気までもフルに活かして、従来のセダン発想では実現しえなかった、
新しいセダンを誕生させたのです。

風の流れまでも利用する、独創のデザイン。

大型一体エアロバンパー (H.P.BLEND) + フロントロアスカート
軽い接触程度なら復元する新素材H.P.BLENDを採用。ボディ下部
にもぐりこむ気流を少なくして、揚力を抑えます。フロントビューに
精悍さを与える、フロントロアスカート (SS) も装備。

フルドア ボディとドアのあいだに段差の少ない、なめらかな
空力デザインです。

テールゲートアッパーガーニッシュ 日本初。路面からのリア
ウィンドウへの泥のはね上げを空気の流れて防ぐ新設計です。



大型一体エアロバンパー (H.P.BLEND) + フロントロアスカート Photo 353



フルドア



テールゲートアッパーガーニッシュ

風がデザインした、しなやかなフォルム、フラッシュサーフェスボディ。



ペンタヘッドライト (ハロゲン)



セミコンシールド・フロントワイパー



フラッシュマウントドアハンドル

ペンタヘッドライト (ハロゲン) (SS・SSS・SS)

ボディ表面と一体感をもたせ、さらにフラッシュ
サーフェス化を図りました。

セミコンシールド・フロントワイパー 空気抵抗
を減らし、風切り音の低減を図った新設計です。
フラッシュマウント接着ウィンドウ ボディとガラ
ス面との段差は、わずか3mm。徹底的なフラッシュ
サーフェス化を進め、風の流れをスムーズにします。

楽しさフルワイド。



どこを走ってもドライバーズゾーンは、感動になってしまふ。

居住スペースと、インパネとの関係を別々に考えるのではなく、自然な広がりの中でトータルなスペースデザインとしてとらえる。この発想が、室内との一体感をもつフルラップラウンド・インストールメントパネルを誕生させました。フロントからサイドへ、大きくまわりこんだカプセル感覚のデザイン。このインパネの曲面がつくるパノラミックな視界が、ドライバーズ空間に、ゆたかな光と、大きな開放感をもたらしています。爽やかさを楽しく広げる、世界で初めての快速機構、ポップアップベンチレーションも装備。もちろん、驚くほどの静かさも備えました。スイッチやメーターなどの合理的なレイアウト。そして、クオリティを極限にまで高めたニューコクピットです。



油圧反力感知方式パワーステアリング ステアリングの反力を利用し、掘え切り時などはさめて軽く、走行時に発生する負荷に比例して、路面の感触をドライバーにしっかりと伝わる感覚として伝える。いわばマニュアル・ステアリングの良さをミックスした新しいパワステです。55G



世界初、ポップアップベンチレーション ワンタッチでポップアップ。アップ時には、3万からのスポット送風で急速空調。ポップアップ機構をインパネ内に収納すれば、自動的にスイッチが切り替わり、さらやかなワイドフロー送風が得られます。

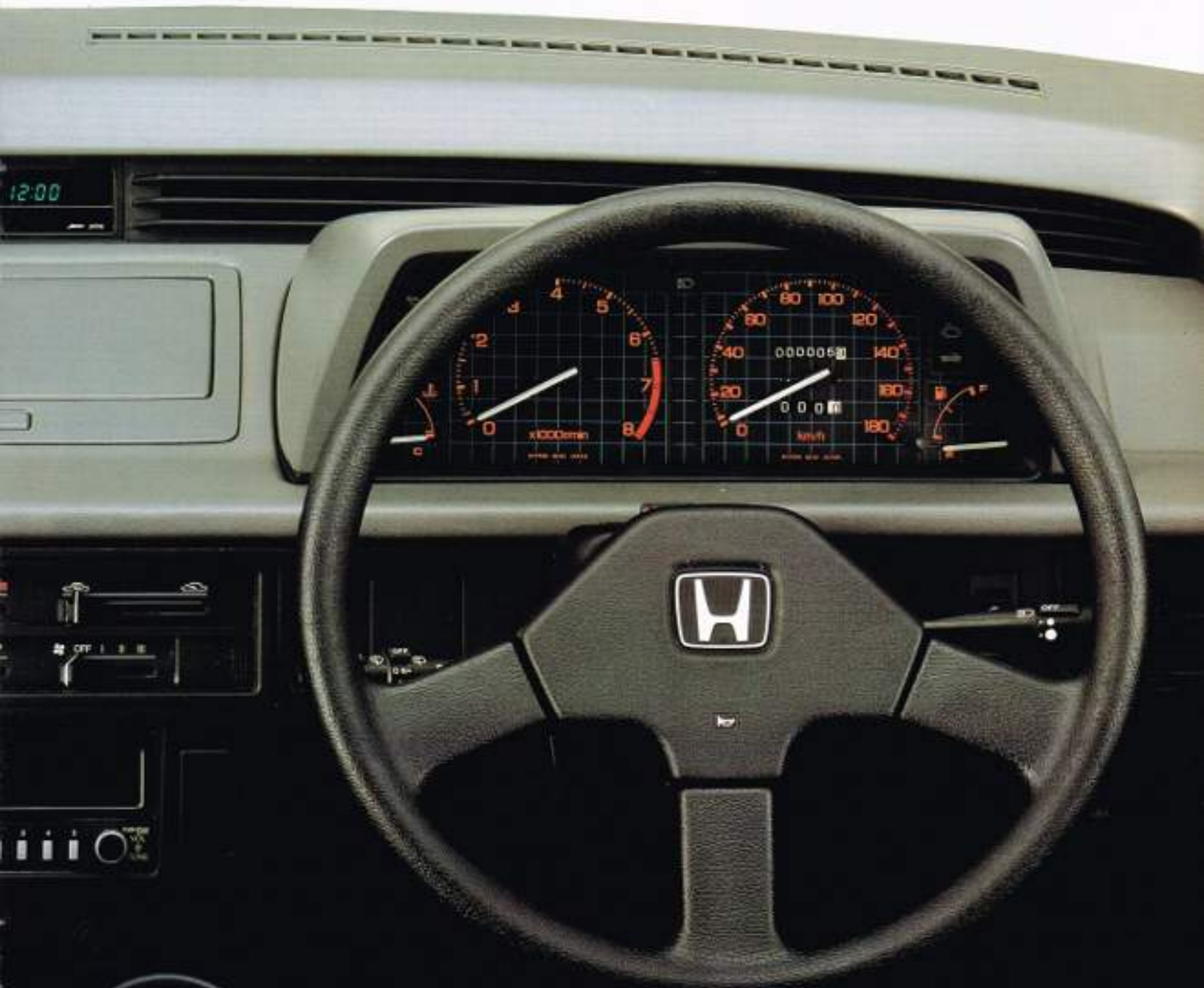


オレンジ照明アナログメーター スポーティな走りを表示する新感覚のメーター。読みとりやすいオレンジ照明。燃料計と水温計も明快にレイアウト。55

感動的な風景は、ビッグに楽しんでほしい。光をワイドに採り入れる広角フロントウィンドウ。

そして、室内との一体感を求めた、新設計フルラップラウンド・インパネ。

俊敏な走りをおおらかに広げる、ヒューマンなコックピットです。



オーバルシェイプ・ステアリングホイール 人間工学が生み出した楕円形状。視覚的な圧迫感を与えず、メーカーも見やすい設計。(55)



ワンタッチアクション機構(ミスト)
付回転式ワイパースイッチ 軽く押すとワイパーが順だけ作動。対向車からの泥ハネなど、とっさの間に効果を発揮します。



電子チューナー式AMラジオ 周波数を素早く自動的にキャッチする超薄型ラジオ。指先で軽く触れるだけのワンタッチ選局方式です。



デジタルクォーツ時計 水晶発振式時計を採用。読みとりやすいデジタル表示式です。1500

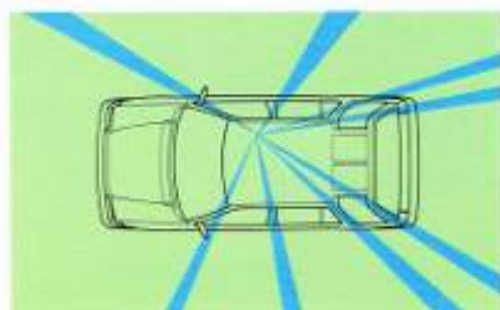
Photo 55

明るさオールライト。



この広さは、まさにパノラマビュー。

前後左右にガラス面積を寛大にとり、視界を充分に確保しました。この広さ、明るさこそ、新しいセダンの世界です。フロントは、ラップラウンドインパネがもたらす、雄大な広がり。サイドは、室内の「高さ」から生まれる、ビッグな視界。リアは、「ワイドガラス・テールゲート」がもたらす、大きな広がり。さらに、新発想のスカイライトウィンドウからも充分な明るさが得られます。また、インテリア全体の色調も新しいセダンにふさわしく落ちついた美しい感覚でまとめました。光と大きな開放感にあふれた、まさにサンシャイン・クルージングの世界です。



新しい光のデザイン、スカイライトウィンドウ。

サイドからルーフまで大きく回りこんだ1枚の曲面ガラスが、独創的なスタイリングを、さらにあざやかに演出してくれます。



隅々にまで、広さを徹底追求。ドアの曲面に沿った、一体成型のドアライニングや、ルーフを広くすっきりとしたカセットルーフ、さらに、メカニズムを抑えた低トンネルのフラットフロアの採用により、室内の隅々にまで、徹底したスペースの追求がなされています。第5の大型ドア ワイドガラス・テールゲート。ブラックキー感覚の、きりりとしまったワイドガラス・テールゲート(35) 大きく採ったガラス面積は、充分な後方視界を確保しました。明るく快適な室内と、自由に新進できるフレックス空間を演出する、いわば第5の大型ドアです。

Photo 35

Photo 34

ゆたかな採光のために、広い視界のために、

ビッグなガラスセクションを確保しました。

あふれるように降りそそぐ、まばゆい光。ここは、まるでサンルーム。



爽快さの電動スモークドガラス・サンルーフ。

ホンダが日本で初めて採用した電動スモークドガラス・サンルーフ。ワンタッチ操作でスモークドガラスをスライドさせ



れば、光と風に満ちあふれる爽快クルージング。また、やわらかな陽ざしがほしいときは、スモークドガラスを閉じてドラマチックに。シヤトルには、光のシャワーが、あふれるようにふり注ぎます。

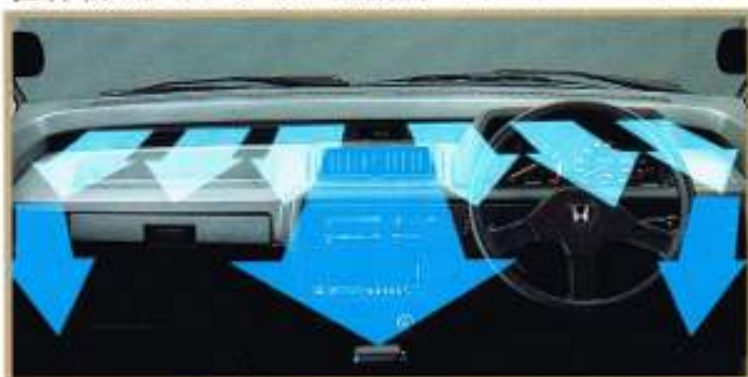
⑤⑤ に決着車を設定

サイド視界を確保するドアデフロスター

ドア上部のエアグリルから、強力な風が吹き出して、サイドウインドウの曇りを素早く取りのぞきます。側方視界を確保する。充実の機構です。



世界初、ホップアップ機構付ワイドフローベンチレーション。



実際は図解のとおりで、実際と多少異なります。Photo ⑤⑥



シヤトルは、あざやかな光の響宴に加えて、風を自由にアレンジする新発想の快適さを備えています。暑い日も、寒い日も、いっせいに室内を快適にするスポット送風のホップアップ機構。そして、ごく自然に、どこからともなく空調

されているようなワイドフロー機構。この2つを自由に使い分けることによって、室内をつねに爽やかに保つことができます。切り替えも簡単なワンタッチ式。新しいセダンだからこそほしかった、世界初のベンチレーションシステムです。



専用スライドスイッチコントロールパネル

高密度ニューテクノロジー。

快走の12バルブ・クロスフロー 新エンジン

1500 PGM-FI 55タイプ型式E-AK 5速

1500 55Mタイプ型式E-AK 5速

最高出力 100PS/5,800r.p.m.

最高出力 90PS/6,000r.p.m.

最大トルク 13.2kg-m/4,000r.p.m.

最大トルク 12.8kg-m/3,500r.p.m.

10モード燃費 14.0km/ℓ^{**}

10モード燃費 17.0km/ℓ^{**}

60km/h時燃費 24.0km/ℓ^{**}

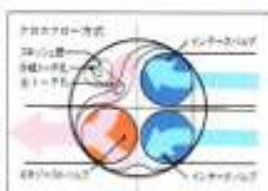
60km/h時燃費 26.5km/ℓ^{**}

※1：10モード燃料消費率・燃費は法定値 ※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。実際の使用条件により異なります。
※2：60km/h時燃料消費率・燃費は法定値

12-VALVE CROSS FLOW ENGINE

卓越した吸・排気効率を実現した 4気筒・12バルブ・クロスフロー 新エンジン

高性能エンジンの基本は、多量の混合気を素早く吸入し、圧縮・燃焼させ、燃焼ガスとして速やかに排出することです。すなわち、きわめて高い吸・排気効率をもっていることです。新エンジンでは、ボア径φ74mmのなかに吸気バルブφ27mm×2、排気バルブφ32mm×1を配置。1気筒当たり3バルブをもつユニークなバルブレイアウトと、クロスフロー吸・排気方式により、ボア径に対し限界に近いバルブ径が可能となり、卓越した吸・排気効率を実現しました。低回転域から高回転域まで、ムラなく一気に吹き上がります。また、バルブスプリングは、吸・排気ともに不等ピッチを採用。高回転でもバルブタイミングにズレがなく、胸のすくスロットルレスポンスをもたらしました。4バルブ並の性能を、2バルブ並のコンパクトさで実現した軽量小型新エンジン。新しいセダンの新しい心臓部です。



クラス初、軽量4連ボア構造 アルミシリンダーブロック

新エンジンは、徹底して小型軽量化を追求した新設計。シリンダーブロックは、4連アルミダイキャスト製。4連ボア構造によって、エンジン全長を大幅に短縮しました。エンジン高も大幅ダウン。ブロック単体では-13%（当社比）の軽量化もなしと上げています。※100%



燃焼効率をさらに向上させた 新B.C.トーチ型燃焼室

マキシマムなパワーを引き出すために、新しい燃焼室形状と燃焼システムを採用。新燃焼室は、B.C.トーチ（分岐トーチ）を備えた副燃焼室とループ型主燃焼室で構成され、副室から2方向に分岐されたトーチ孔からは、強力なトーチ火炎が噴射。主室内の混合気が勢よく燃焼されます。コンパクトな燃焼室形状と相まって、安定かつ迅速な燃焼が可能となりました。この結果（55）で10.0、（55M・55J・55G）で9.2、（55）で8.7の高圧縮比を実現しました。



最適空燃比をリアルタイムに。高精度、高信頼性の ホンダオリジナルPGM-FI 55



あの、ホンダF-1にも採用されているホンダオリジナルPGM-FI。これは、さまざまな走行状態を感知する「眼」と、最適空燃比を算出する「頭」と、そして燃料を正確にエンジンに送り出す「手」をもった独自の電子燃料噴射システム。「眼」となるセンサーには、燃料噴射量を算出する「スピードセンシティ方式」を採用。タイムラグがきわめて少なくなっています。「頭」とある制御部は、高精度な「8ビットデジタルコンピュータ」を採用。噴射量をきめ細かくコントロールします。そして、「手」にあたる噴射部には、「4気筒順次噴射方式」を採用。ジャストタイミングに噴射され、鋭いパワーレスポンスと低燃費を両立しています。

あ、ホンダF-1にも採用されているホンダオリジナルPGM-FI。これは、さまざまな走行状態を感知する「眼」と、最適空燃比を算出する「頭」と、そして燃料を正確にエンジンに送り出す「手」をもった独自の電子燃料噴射システム。「眼」となるセンサーには、燃料噴射量を算出する「スピードセンシティ方式」を採用。タイムラグがきわめて少なくなっています。「頭」とある制御部は、高精度な「8ビットデジタルコンピュータ」を採用。噴射量をきめ細かくコントロールします。そして、「手」にあたる噴射部には、「4気筒順次噴射方式」を採用。ジャストタイミングに噴射され、鋭いパワーレスポンスと低燃費を両立しています。

スムーズな走りの「ホンダマチック」55M・55J・55Gと、パワフルな「ホンダマチック3速フルオート」(55L)

新開発2つのロックアップ機構付 ホンダマチック（オーバードライブブレイク）

複雑な補助変速装置を必要としないホンダ独自の2軸平行方式設計などにより、驚異的な軽量・コンパクト・高効率を実現しています。スムーズな発進はもとより、パワフルな新エンジンとマッチした、胸のすくハイレスポンス。しかも中速域からロックアップ機構が働きます。VAM（Variation Absorbed Mechanism=変動吸収機構）はロックアップ作動時の振動を抑え、騒ぎ目を感じさせないホンダ独自のトルク変動型コントロール方式。オイルを介さずエンジンパワーがダイレクトに伝わるため、パワフルかつエコノミー。高速度走行時には、オーバードライブブレイクがセダンの欠かせない優れた静粛性と低燃費をもたらしました。



シャトルは、ビッグな居住スペースを備えながら、あざやかなフットワークを身につけた。

このコンパクトなメカニズムからは、信じられないほどの

高性能な走り。——新しいセダンには、新しい驚きがある。

小気味よい走りを引き出すスポルテック・サスペンション

高性能エンジンのハイパワーを支える足はどうあるべきか。ハイウェイでは直進性に優れ、ワインディングロードでは俊敏な回頭性を示し、驚異的なスタビリティを発揮してほしい。しかも乗り心地は最高に。ホンダはこれらのエレメントを集約、すべての条件を満たしてくれるコンポーネンツにチャレンジ。それが「スポルテック・サスペンション」です。フロントはトーションバー・ストラット式。リアがトレーリングリンク式ビーム。しかも、高性能な5ドアセダンのポテンシャルを高めるために、絶妙の各種ジオメトリを追求しました。



サスペンションを知りつくしたホンダの結晶

トーションバー・ストラット式フロントサス

フロントには、まず、ストラット高を低くするために、わじめることで反発力を発生するトーションバー・スプリングを採用。ダンパーからコイルスプリングを除去することにより、ダンパーマウント位置を、大幅に下げることができ、低いポンネットラインを実現しました。しかも、ダンパー・マウントの小型化を可能とし、ラジアスアームの後方レイアウトと相まって、サスペンションのアンダーフロア化も達成。エンジンルーム内のスペース効率をも高めています。



安定した制動姿勢。

アンチダイブ・ジオメトリ

ラジアスアームピボットを後方に配置。ロアアーム回転軸を路面と水平に支持。これにより、ブレーキングによる姿勢変化が少なく、スタビリティがいちだんと高まりました。

制動直進性を確保。

ネガティブオフセット・ジオメトリ

左右のタイヤに制動力の差が生じた場合、ステアリングがとられるのを防ぐために、キングピンのネガティブオフセットを採用。優れた制動直進性を確保しました。

高性能なセダンの足にフィット。

フロント・ベンチレーテッドディスクブレーキ (SS)

前軸ディスクブレーキ標準装備。(SS)には、放熱効果に優れ、安定した制動力を発揮する、ベンチレーテッド・ディスクブレーキを採用。



トリポット型等速ジョイント＋一体中空ドライブシャフト

独自の、トリポット型等速ジョイントと、一体中空ドライブシャフトの採用で、パワー伝達効率を向上、防振性も大幅に向上させました。

ロール応答性に優れた低圧ガス封入ダンパー

激しい作動にも、キャビテーション（気泡）の発生を抑え、安定した乗り心地をもたらします。

横風などに強い

ニュートラルステア・ジオメトリ

高剛性のメーサルロッドをアックスルセンター上に配置。横風や、コーナリング時などの外乱に対し、トー変化の少ない、ニュートラルステアを実現。さらに、コンプライアンスブッシュをソフトに設定して、乗り心地の良さを向上させています。(SS)には、ビーム内にリアクションチューブ式トーションバー・スタビライザーを内蔵しています。

軽量かつ高い剛性。

独創の一体構造モノコックボディ

エンジンルームは、衝撃吸収効率の良い構造。また居住スペースは、剛構造となっています。さらにリア部は、剛性の高いハシゴ型フレーム構造です。

リアサスに高いポテンシャルをもたらしたトレーリングリンク式ビーム・リアサス

FF車の運動性能は、リアサスペンションの性能によって大きく左右されます。そこでホンダは、高速直進性、接地性、限界性に優れた独創的なトレーリングリンク式ビーム・サスを開発しました。これはビームアックスルにより、路面に対しタイヤをつねに垂直に保持。コーナリング時のタイヤ接地面積の減少が少なく、高い限界レベルと優れたステアリングの追従性を発揮するものです。また同時に、ころがり抵抗を低減し、ワイドタイヤなどの性能を最大限に引き出すことも可能となり、これと相俟ってフロントサスの限界レベルも飛躍的に向上させます。



REAR

FRONT

トップクラスの最小回転半径4.6 m

ホンダオリジナルのトリポット型等速ジョイントなどにより、とりまわしのよい4.6 mの最小回転半径を実現しました。



53U

- 角型ヘッドライト
- 大型一体エアロバンパー(HPBLEND)
- テールゲートアッパースピーカーニッシュ
- ドライバーズポケット
- インパネ・アンダートレイ
- ポップアップ機構付ベンチレーション
- セミコンシールド・フロントファイバー
- リアドアチャイルドプルーフ
- フロントディスクブレーキ



テールゲートアッパースピーカーニッシュ



ドライバーズポケット



フロントディスクブレーキ

創造空間を自由に広げる、
フレンドリーなシャトル。



ポップアップ機構付ベンチレーション



シート表皮/ストライプ

光と自由が大好き、
アクティブなシャトル。

55M

- 角型ヘッドライト(ハロゲン)
- 大型一体エアロバンパー(HP BLEND)
- テールゲートアッパーガーニッシュ
- フロントシート・フルフラットリクライニング
- ドライバーズポケット
- ポップアップ機構付ベンチレーション
- セミコンシールド・フロントワイパー
- 電動暖入り・リアウィンドウデフォグガー
- ウォッシャー付リアワイパー
- 165/70SR13スチールラジアル高圧タイヤ
- デジタルフォックス時計



シート表皮/フレッドニッテ



電動暖入り・リアウィンドウデフォグガー・
ウォッシャー付リアワイパー



デジタルフォックス時計



角型ヘッドライト(ハロゲン)



ドライバーズポケット

550

- ベンタヘッドライト(ハロゲン)
- 大型一体エアロバンパー(H.P.BLEND)
- 大型サイドプロテクションラバー
- テールゲートアップガーニッシュ
- フレックスシート
- トランクアンダートレイ
- フィットレスト
- ポップアップ機構付ベンチレーション
- 電熱線入り・リアウインドウデフォグ
- 開欠式セミコンシールド・フロントワイパー
- リアドアチャイルドブローフ
- 165/70 SR13スチールラジアルタイヤ

新しい感性に充たされた、
クリエイティブなシャトル。



ベンタヘッドライト(ハロゲン)



フィットレスト



トランクアンダートレイ



シート張地「フレックス」アクリル



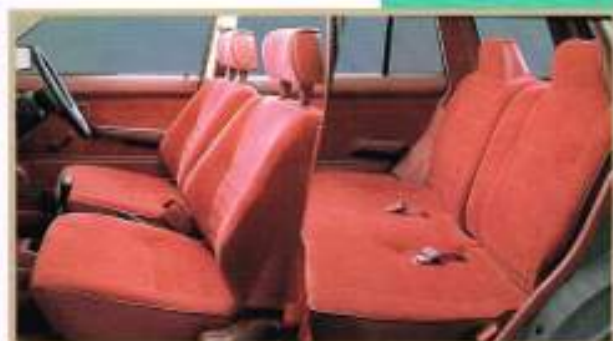
大型一体エアロバンパー(H.P.BLEND)

ファミリーのための美しさと明るさ、
クオリティのシャトル。

550



- ベンタヘッドライト(ハロゲン)
- 大型一体エアロバンパー(H.P.BLEND)
- テールゲートアップリガーニッシュ
- フロントシート・フルフラットリクライニング
- 油圧反力感知方式パワーステアリング
- パワードロック
- トランクアンダーレイ
- ポップアップ機構付ベンチレーション
- リアヒーターダクト
- 電熱線入り・リアウィンドウデフォグ
- 開欠式セミコンシールド・フロントワイパー
- バニティミラー付サンバイザー
- テールゲートオープナー
- フューエルリッドオープナー
- シートバックポケット
- リアシエルフ
- 165・70 SR13スチールラジアルタイヤ



シート背板 フォルムアップ



油圧反力感知方式パワーステアリング



テールゲートオープナー・フューエルリッドオープナー



パワードロック



バニティミラー付サンバイザー



シートバックポケット

スポーツの空気をいっぱいに吸いこんだ、
スポーティなシャトル。

551

- ベンタヘッドライト(ハロゲン)
- 大型一体エアロバンパー(HP BLEND-シルバー塗装)
- フロントロアスカート
- 大型サイドプロテクションラバー
- テールゲートアッパーガーニッシュ(ブラックタイプ)
- フレックスシート
- フットレスト
- オーバーハングイブ3本スポーク ステアリング
- ホップアップ機構付ベンチレーション
- ベンチレーテッド・フロントディスクブレーキ
- スカイライトウインドウ・ストライプ
- 175/70SR13スチールラジアルタイヤ

◎電動スモークガラス・サンルーフ装備車を設定



シート表皮/フロント・リアドアトリム



スカイライトウインドウ・ストライプ



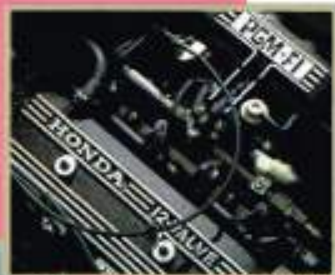
大型一体エアロバンパー(HP BLEND)



テールゲートアッパーガーニッシュ



ベンチレーテッド・フロントディスクブレーキ



1600cc・16バルブ・DOHC 16Vエンジン





リアドアチャイルドブローフ ノブをセットすれば、後席のドアは内側からは開きません。お子様を乗せたときの親切設計。



昼夜切り換え式ルームミラー (55J・55G・55i) 夜間、後続車からのヘッドライトの眩しさを防いでくれます。



ウォッシャー付リアワイパー・**電熱線入りリアウインドウデフォグ** (55i) リアビューの視界を良好に保つ充実の装備。



フロント3点式ELRシートベルト 基準以上の衝撃が加わったときにだけロックされるELR(緊急自動ロック)付です。

創造空間には、刺激的な装備がある。 ニューセダンの世界はさらに広がります。



シガーライター&灰皿照明 (55J・55G・55i) 夜間走行のときなど、灰皿を引き出すとランプが点灯します。



テールゲートオープナー (55J・55G・55i) **フューエルリッドオープナー** (55i) 室内から、テールゲートとフューエルリッドのロックが解除できます。



フットレスト (55J・55i) スポーツ走行時やコーナリング時にかたむきを支え、スポーティな走行が楽しめます。



グローブボックス ちょっとした小物類や地図などの収納に最適です。



伸縮式グラブレール (サンルーフ選装車) ふだん使用しないときには、収納できる伸縮式です。



ドライバーズポケット ドライバーの手もとに置きたい小物類や手帳などの収納にぴったりです。



インバンクアンダートレイ タバコやハンカチなど、ドライバーとパッセンジャーの両方でお使いください。



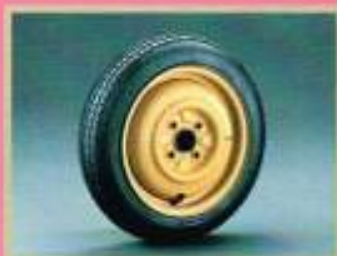
シートアンダートレイ (55J・55G・55i) 濡れた傘などをしまえるトレイ。もとに戻せば、外部からは見えません。



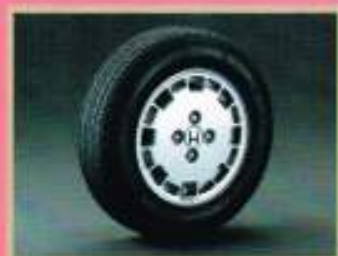
トランクアンダートレイ (55J・55G・55i) トランクの下に収納スペース。小物類の収納ができる。開仕切り付です。



ドアミラー ワイドでくっきりとした視界を確保。フェンダーミラーも選べます。



テンポラリースペアタイヤ 軽量化とスペースユーティリティの発想から生まれた、スリムなスペアタイヤです。



アルミホイール (注文装備) 洗練されたデザイン。バネ下重量を軽減し、軽快で安定した走りを生み出します。



つねに先進のハードウェアメーカーを求めている。世界最大のハードウェアメーカーであるインテルと提携し、インテルの最新ハードウェアを最先端の製品に採用している。

CIVIC WONDER SESSION
シト...

**シビック
ワンダー
セッション**



新しい生活をつれてくる。新しいシビックたち。

ホンダはいつも、その時代時代に求められる、最もいい方法をとってきました。

その結果が、世界が競ってFF化を進める今日にあって、すでにFF16年780万台を越える並はずれた実績につながり、

また世界のクルマづくりをリードする、数々の先進性となってあらわれてきたのです。

そしてホンダはいま、新しいFF思想がつくる、FFニューエイジを提示するとともに、

驚くべき発想を打ちだしました。3ドア、4ドア、5ドアと。

どれもサイズから違う、形状も違う、コンセプトまでも違う、世界でも例のない型破りなやり方。

つまり、単なるシリーズを超えた、それぞれにあざやかな個性をもつニューディメンション展開。

それが、シビッタ・ワンダーセッションです。

多彩な広がりをもつライフスタイルにふさわしい、新しいシビックたち。

まさにワンダー(驚異の)なシビックの誕生です。

Photo: 平賀トシヲ (25) 田中イサヲ・アルミカール 監修, ガブ (32)
 ガブ, ジョットロ (33) アルミカールは未登場。

安全で快適なカーライフのために。ホンダからのお知らせです。

●安全運転のために

- 交通法規を守り、安全運転を心がけてください。心は余裕をもって運転されるのが大切です。
- 高速道路をはじめ、一般道でも必ずシートベルトを着用しましょう。同乗者にもシートベルトをおかけください。
- やむを得ない場合以外は、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作は避けましょう。車の寿命を縮めるとなり、また経済性、安全性からも好ましくありません。

●保証期間

新車を登録した日から3年間です。また、ホンダが指定した部品は2年間で、いずれも期間保証です。なお保証内容については、販売店を通じて、保証書をお確かめください。

●定期点検をどうぞ

- 車がいとも安全快適であらうため、ホンダ指定の制動時の1ヶ月・6ヶ月点検(点検料無料)及び法定の運行前点検・定期点検が必要です。
- 運行前点検とは、自動車を運行する人が、1回1回、運行する前に行なう点検です。この点検は運転席に座ったり、エンジン・ルームをのぞいたり、自動車の回りをまわしながら自動車の状態をみることで、容易にできるものです。
- 定期点検とは、自動車を使用する人が、定期的に行なう点検です。自家用乗用自動車については、6ヶ月点検、12ヶ月点検、24ヶ月点検の3種類があります。車検は3年目(初回)以降については2年ごとに必要です。販売店またはホンダSDFで受けられます。

●純正部品・オイル

- 車の性能、機能を維持するために、最もよいホンダ純正部品、オイルをお使いください。
- 燃費を良くするために
- 運転はスムーズに、急加速など「急」のつくりは避けましょう。車速に適したギヤを選んで走りましょう。
- 点検・整備を徹底し、つねに最高の状態に、タイヤ空気圧を適正にしましょう。
- 安心してできるカーライフのために
- 自動車保険だけでなく、十分な任意保険に加入しましょう。

※ご愛用のさいは、取り扱い説明書、整備手帳(保証書)をよくごらんいただきますようお願いいたします。

HONDA SF

全国210ヵ所開のサービスネット。ホンダSF。

SFとはホンダ直系でホンダ製品の点検・整備を専門にお引き受けするサービスファクトリーのこと。ホンダの生産工場で作られた高い性能と優れた設備を使用して、整備完了車は新車と同様の的確な点検検査を行なっています。しかも整備箇所について3ヶ月または3,000kmの保証をする「整備保証」の制度も実施しています。全国ネットですから、どこでもSFでもご利用でき、遠くへお出かけのときも安心です。

お忙しい方の手をわずらわせない訪問サービス。

ホンダSFのベテランサービスマンが、お客様のご希望の仕度、場所、に、サービスカーでお訪ねし、その場所でお車の点検、整備、調整をするシステム。いわばお車のホームドクターです。貴重な時間のロスはありません。また路上故障などの場合には、呼び出しサービスの制度もあります。詳細はお近くの販売店、もしくはホンダSDFへお問い合わせください。

HONDA SR

お気軽にお越しください。ホンダとの触れあいの場所。

四輪車、二輪車、発電機、船外機などホンダが誇る新製品を一堂に展示してある、素敵なショールームです。お客様が自由に見て、触れて、感じていただける場所になっています。自動車用品のショッピングコーナーもあります。ぜひ一度お立ち寄りください。

ホンダSR名古屋	名古屋市東区1-1-2	TEL 0522(62)4617
ホンダSR東京	東京都北区神楽坂5-27-8	TEL 03(407)9231
ホンダSR名古屋	名古屋市東区千代田1-7-2	TEL 052(286)3040
ホンダSR大阪	大阪市北区南堀江7-31	TEL 06(261)7151
ホンダSR福岡	福岡市博多区東區町8-1	TEL 092(271)3191

